

トホクのゴマ栽培方法

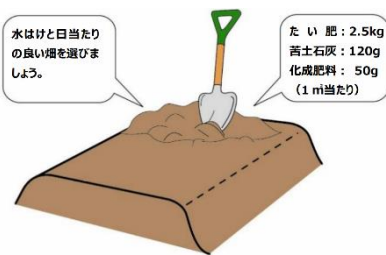
発芽適温：20～25℃ 生育適温：15～25℃
 土壌酸度：pH6.0～6.5 連作障害；2～3年あける

1. 作物特性

「日照り、ゴマに不作なし」の言い伝えがあるように、夏の高温と乾燥によく耐える作物です。栽培は簡単で、3～4カ月の短時間で収穫できます。比較的粗放な栽培でもよく生育し、逆に肥料のやり過ぎは倒伏の原因となりますので肥料分は控えめにすることがポイントです。栽培上特に難しいことはありませんが、莢の成熟が一斉でないため、刈り取り適期を判断するには経験が必要かも知れません。

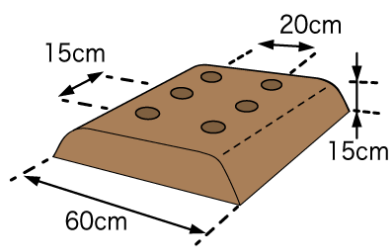
2. 畑の準備

酸性土壌は生育不良となりますから、あらかじめ苦土石灰を施して耕しておきます。



3. タネまき

発芽適温が20～25℃です。十分暖かくなってからタネをまきます。



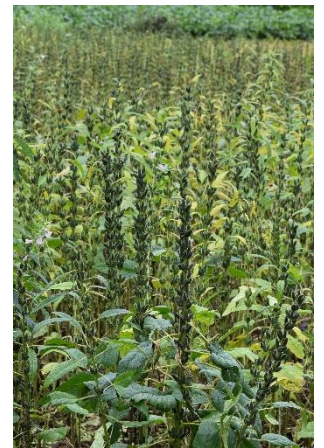
タネは約5mmの深さに1カ所に5～6粒まき、ていねいに水やりします。マルチを張れば地温確保と雑草防除に有効です。

4. 栽培管理

生育に合わせて間引きをし、本葉5枚までに一本立ちにします。ポットで苗を育てて畑に植えつける場合、本葉5枚位の苗を植えつけます。



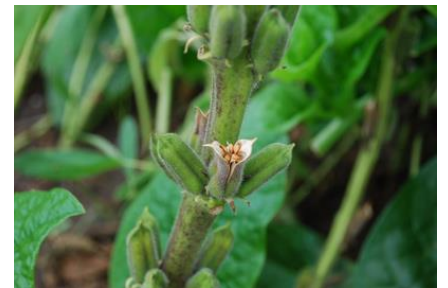
生育に伴い下から花が咲き出します。株が成長してきて倒れるようなら両脇に支柱を立て、ひもなどで囲うようにして防ぎます。



次々花が咲き、花が終わると莢が稔り出します。

5. 収穫

下葉が枯れてきて、下から2～3個の莢が裂けはじめたら株元から刈り取って収穫します。

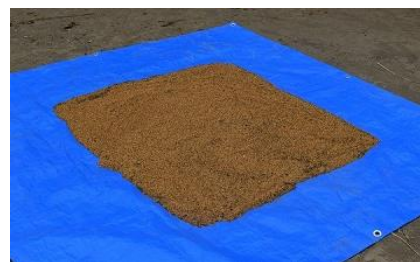


刈り取ったら葉を落とし、数株ずつ束ねて風通りのよい場所に立て掛けて追熟・乾燥させます。



も良いようにシートや箱などに立て掛けます。約一週間後に、上の方の莢まで割れたら株を逆さまにして種子を落とし更に数日乾燥させます。その後、篩

(ふるい) などを使って選別してから保存します。



栽培例	まき時期					収穫時期						
地域/月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
冷涼地					●				■			
中間地					●				■			
暖地					●				■			